

情報モラル教材(小学生向け) コンテンツ内容一覧

話数	タイトル	テーマ	主役の性別	機器	事項のあらすじ	解説の内容等	指導したいこと 気付かせたいこと
第1話	インターネットの情報は正しいの？	インターネットの情報の信憑性	男子	スマートフォン等	【題材:誤った情報の拡散】 ●SNSやいろんなニュースサイト、まとめサイトなどで様々な情報を仕入れ、まわりの友人に広めていた。 ●しかし、嘘や間違っている情報であり、けんかになってしまった。	●インターネット上には様々な情報が溢れており、中には嘘や間違いもある。 ●正しい情報なのか、信頼できる情報源なのかを見極めることが大切。 ●情報に振り回されず、上手にインターネットを使う。	●インターネット上の情報を信じて発信するのは非常に危険であるので、新聞、テレビ等、複数の異なるメディアで確認する姿勢を育む。 ●わざとでなくとも間違った情報発信を行うことで、周りに嫌な思いをさせてしまうことも押さえる。
第2話	ネットのイラストは誰のもの？	著作権	女子	スマートフォン等	【題材:他人の著作物の無断利用】 ●インターネット上でダウンロードしたイラストをSNSで拡散させてしまう。 ●著作権者からイラストを勝手に使って困ると連絡があった。	●文章やイラスト等には「著作権」があり、勝手に誰かに配布してはいけない。 ●無断でコピーしたり、友達にあげたりするのはやめる。	●自分が頑張って作った作品を知らない人が勝手に使っていたらどう思うか考えさせる。 ●軽い気持ちで勝手に使用することは誰かを嫌な気持ちにさせていることに気付く態度を育む。
第3話	名前、住所、写真を公開しない	個人情報	女子	スマートフォン等	【題材:安易な個人情報の公開】 ●友達にプロフィールサイトに個人情報を書き込むと友達がたくさんできたと言われ、住所を公開した。 ●大量のメッセージが届くようになり、その中には怖い内容もあった。	●個人情報を安易にインターネットに公開することは安全ではない。 ●どうしても名前や住所を入力してはいけないときは家の人に相談する。	●SNSなどに書き込み、友達だけに公開した思っても、簡単に拡散してしまう恐れがあり、それを完全に削除することは難しいことを知らせる。 ●個人情報を悪用され家族にも危険が及ぶことを知り、個人情報の公開については慎重に行わなければならないという姿勢を養う。
第4話	知らない人からのメール	ウイルス感染	男子	スマートフォン等	【題材:ウイルスに感染させる不正サイト】 ●見覚えのないメールのリンク先をタップしたところ、支払いを要求された。	●インターネット上には悪い人もいる。 ●お金をだまし取ろうとしている人や、ウイルスをばらまこうと考えている人もいる。 ●知らない人からのメールは開かない。 ●心配な場合は消費者センターに相談する。	●知っている人からのメールでも、あやしいと感じたり、怖いと感じたら、自分一人で解決しようとせず、家の人や学校の先生に相談する態度を育む。
第5話	パスワードの管理	ID、パスワード	男子	スマートフォン等	【題材:パスワードを解除された】 ●スマートフォンをどこかに落としてしまった。 ●誰にでも見破られるパスワードを設定したため、パスワードを解除され、そのスマートフォンから友達に変なメッセージや写真が送りつけられた。	●簡単に分かるようなものだったあり、誰でも見えるところにパスワードを書いたりしてはいけない。 ●設定したパスワードは他の人に教えない。	●パスワードは自分自身を守る大切なものであるという認識を持たせる。 ●他人に見破られないようなパスワードを設定すると共に、大切に保管する態度を育む。
第6話	悪口を書かない	無責任な情報発信	女子	スマートフォン等	【題材:悪口の書き込み】 ●友達とけんかしてしまい、自分のブログに不満を書き込む。 ●他の友達まで友達の悪口を言い始め收拾がつかなくなる。	●ブログやSNSでは簡単に悪口を書くことができる。 ●いじめにつながることもある。 ●一度書き込んだことはなかなか取り消せないで、書き込む前に落ち着いて考える。	●どんなときも、相手の気持ちになって考える態度を育む。 ●悪口や陰口がいけないということはインターネットの世界だからといって変わるのではなく、気軽に書き込み、想像以上に拡散する恐れがあることを認識させる。
第7話	インターネットを使うときのルール	インターネットを使う時間帯、使用時間	女子	スマートフォン等	【題材:スマートフォン中毒】 ●動画サイトの夢中になり、時間を忘れ夢中になり、夜更かしをしてしまう。 ●授業中に何度も居眠りをしてしまい、先生から注意される。	●長時間インターネットをして、夜遅くまで起きていると生活のリズムがおかしくなって、次の日集中力を欠いてしまう。 ●家の人と話し合って時間を決めて適切に使用する。	●学校生活を集中して送るために、前日の夜どう過ごせばいいか個人やグループで考えさせる。 ●どうしても時間を決めて使用できない場合は、家の人と相談し、使用制限をかけてもらう等の対策を考える態度を育てる。
第8話	ネットゲームのやり過ぎはダメ! (有料アイテム)	有料アイテムの課金	男子	スマートフォン等	【題材:ゲームサイトの課金】 ●お母さんのスマートフォンを借りて、ネットゲームを楽しんでいた。 ●どうしても有料アイテムがほしくなり、お母さんの許可を得ることなく何度も購入した。 ●お母さんのクレジットカードからかなりの金額が引き落とされた連絡が入った。	●どうしても欲しいものがあるときは、家の人とよく相談して購入する。一人で判断しないこと。	●有料のアイテムについては、家の人に必ず相談する態度を育む。 ●手軽に購入できてしまうため「お金を使っている」という認識がなく大量にアイテムを購入してしまうことがある。心配な場合は、家の人と相談して、課金を無効にする設定をしてもらう等、対策を立てて使用することができる態度を育む。
第9話	チケットの転売はいけないの？	チケットの転売	女子	スマートフォン等	【題材:転売チケットの購入】 ●チケットが取れなかった公演にどうしても行きたくて、親に頼んでオークションでチケットを買ってもらった。(定価の倍以上であることをイラスト内で示す。) ●当日、「転売チケットである」という理由で中に入れず、結局見ることができなかった。 ●後日、転売が問題になっておりアーティストも迷惑しているというニュースを見て、さらに落ち込んでしまった。	●チケットを転売したり、それを購入したりすることで、多くの人に迷惑がかかる。 ●高額な転売チケットは、違法の可能性もある。絶対に買ってはいけない。 ●自分が誰かに譲るときも、定価でやり取りする。	●運営側の判断で転売チケットでの入場が規制される動きがあることも伝える。 ●どうしても入場できなかったのか、話し合い等を通じて考えさせる。 ●自分が他人に譲るときどのような点に注意しなくてはならないのか考えさせる。
第10話	フィルタリングで何を守ってくれているの？	フィルタリングの機能	男子	スマートフォン等	【題材:フィルタリング】 ●「つながらないサイトが多くてみんなとゲームができない」と保護者に頼み、フィルタリングを解除してもらった。 ●その結果、ポップアップが消えなくなったり、大量のダイレクトメールが来るようになってしまった。	●フィルタリングは、次のような機能がある。 ・有害サイトから守る。 ・個人情報を守る。 ・犯罪から守る。 ●自分を守り、安全安心を与えてくれるものであると認識することが大切。	●フィルタリングの役割について理解させる。 ●フィルタリングを適切に利用することで、自分自身を有害サイトから守るという意識を持たせる。 ●フィルタリングについては、購入時保護者にかけてもらう。

情報モラル教材(小学生向け) コンテンツ内容一覧

話数	タイトル	テーマ	主役の性別	機器	事項のあらすじ	解説の内容等	指導したいこと 気付かせたいこと
第11話	ウイルスに感染してしまったら?	添付ファイルからのウイルス感染	男子	スマートフォン等	【題材:メールからのウイルス感染】 ●知らない人から送られてきた添付ファイルを開いてから、スマートフォンの調子がおかしくなった。 ●大量の迷惑メールがきたり、動きが遅くなったりするようになった。	●スマートフォンにも、ウイルス対策ソフトをインストールし、きちんとアップデートしておく。 ●心当たりのない添付ファイルは絶対に開かない。 ●アプリやサイト閲覧から感染することもあるため、十分注意する。 ●感染したかもしれないと思ったら、大人にすぐ相談する。	●見ず知らずの宛先からのメールは開かないことが、ウイルス感染防止のための方法であることを知らせる。 ●セキュリティ対策ソフトのアップデートが確認できる。 ●添付ファイルを開いた後に「あやしい」と感じたときは、保護者に相談しパソコンをネットワークから外し、速やかにセキュリティソフトでスキャンしてもらおう態度を育てる。
第12話	ネットオークションやフリーマーケットアプリでトラブルにあってしまったら?	情報の信頼性	女子	スマートフォン等	【題材:フリマアプリでの購入】 ●フリーマーケットアプリでTシャツを購入したが、入金後いくら待っても連絡がない。 ●2週間以上経ってから品物が届いたが、汚れていて写真とまったく違う状態だった。	●フリーマーケットアプリなどを使う場合、情報の信頼性をしっかり確認する必要がある。 ●出品者の評価、商品の説明文や写真などを大人にも確認してもらうこと。	●商品のやりとりで購入者がトラブルに遭う可能性があることを理解させる。 ●フリマアプリでの商品の取引は、保護者を通じて行うべきであるが、万トラブルに遭ったときは、保護者を通じてサイトの運営先への問い合わせや消費者センターに相談する等の手段を取ることができる態度を育てる。
第13話	写真をアップするときは	SNSからの情報発信	女子	スマートフォン等	【題材:SNSでの不適切な情報発信】 ●お友達と遊んだ日のことをブログに写真つきで紹介した。(個人情報やSNSなどにアップしてはいけないことは承知の上で、写真だけであれば名前や学校がばれることは無いと思っていた) ●翌日、ブログを見たお友達に「勝手に写真を使わないで」と怒られてしまった。	●自分だけではなく、友達の写真も勝手に公開してはいけない。 ●写真を公開することで、友達の気分を害する場合もある。 ●写真から、個人情報が危険にさらされることがある。 ●写真をアップするときは、写っている本人、家の人に確認する。	●住所公開等、直接的な個人情報漏洩に関する被害は12話までのシナリオで説明済みであるため、写真から情報をもれる可能性を理解させる。 ●自分が「嫌でないこと」が、相手にとっては「嫌なこと」もある。それが原因で、コミュニケーショントラブルに発展することに気づかせる。
第14話	返信がとまらない	SNS依存	女子	スマートフォン等	【題材:SNS依存】 ●夜、家で友人とメッセージのやり取りをしていたところ、ご飯の時間になり家の人に呼ばれた。 ●返信が次々来るため、ご飯に行くことができず、家の人に怒られてしまった。 ●怒られている間も返信の通知が気になってしまう。	●SNS依存となる人が増えている。 ●SNSは自分のペースで使うもので、いつも確認や返信をしなければならぬものではない。 ●家の人や友達と、快適なSNSの使い方について話し合うことが大切である。	●小学生は、SNSの返信遅れや既読無視による人間関係の亀裂が問題となっていることが多いため、「SNSから離れられなくなってしまった」ことが問題となっていることを理解させる。 ●返信しなくても大丈夫な友達関係を構築するためにどう行動すればよいか考えさせる。
第15話	時間を決めているのに(オンラインゲーム)	ゲーム依存	男子	スマートフォン等	【題材:ゲーム障害】 ●家のルールで「ゲームは1日1時間」と決まっているが、ついやりすぎてしまう。 ●家の人にもしかられるが、口答えをしてしまう。 ●次の日もゲームのやりすぎで叱られてしまうが、どうしてもゲームを我慢できない。	●ゲームに熱中して生活を崩す人が大人にも増えている。 ●家のルールは、自分を守るためであることを理解し、しっかり守る。 ●どうしてもルールを破ってしまう場合は、家の人や学校の先生と話し合う。	●親とのルールを破ってまで、ゲームを続けてしまう理由を考えさせる。 ●ゲームの中で互いの成果を評価し合ったりする関係が、自分という存在が認められる唯一の場と感じてしまう前に、親と相談して互いに納得いくルールを決めるよう指導する。
第16話	SNSでの情報発信	災害時のSNS利用	男子	スマートフォン等	【題材:フェイクニュース】 ●インターネットで、「ライオンが脱走」というニュースを見て、友達に拡散した。 ●翌日、フェイクニュースが出回って困っているという動物園のニュースをテレビで見て、うそを拡散してしまったと落ち込む。	●ネットには悪ふざけ等が目的で作られたうそのニュースがある。 ●うそのニュースを信じると、自分も周りの人も危険にさらされる可能性がある。 ●情報は、テレビや新聞等、信頼できることも確認することが大切である。	●災害時等に出回りやすいフェイクニュースに焦点を当てた内容を学習する中で、そこが与える影響について考えさせる。 ●信頼できる情報源をあらかじめ知っておくことが大切であることを知る。
第17話	ながらスマホ(歩き)	ながらスマホ(歩き)	女子	スマートフォン等	【題材:ながらスマホ(歩き)】 ●ある日、買い物に出かけた主人公は、スマホを見ながら交差点の中を歩いていく。 ●前をまったく見ていなかったため、向かいから歩いてきたお婆さんに気づかず、ぶつかって転ばせてしまった。	●ながらスマホは、事故を起こしやすい非常に危険な行為。 ●自分だけではなく、周りの人を巻き込んでしまう(怪我させてしまう)ケースが増えている。 ●特に、高齢者や障がいを持った人、幼児、妊婦などは命にかかわる事故になることも。 ●「自分は大丈夫」と思わないこと	●年々ながらスマホによる交通事故が増加傾向にあることを知る。 ●歩行中は自分自身がけがするだけでなく、周囲の人に怪我させるだけでなく、周囲の人に怪我させる可能性があることを知る。 ●悪いと分かっているのにながらスマホをしてしまうのか話し合う。
第18話	漫画の海賊版サイトの閲覧	著作権	男子	スマートフォン等	【題材:漫画の海賊版サイトの閲覧】 ●インターネットを見ていて、漫画の海賊版サイトを見つけた主人公。 ●違法と知ってはいたが深く考えず、SNS(Twitterのような不特定多数に発信するタイプのもの)で「漫画を無料で見られるサイトを見つけた!」とURL付きで投稿し、見た人から注意を受けてしまう。	●海賊版が無料なのは広告収入があるからで、そのお金は反社会的勢力の収入になっていることもある。 ●漫画家などの著作権者が時間と労力をかけた作品を、犯罪で手に入れて良いのか考える。 ●きちんとお金を出して作品を買わないと、漫画家は作品を作る環境がなくなってしまう。	●どうして無料で配信できるのか、その背景について話し合う。 ●目先の誘惑に負けず、きちんとお金を払って商品を買うことは安心を買うことにつながることを知る。 ●自分でトラブルを引き寄せていることになっていることを知る。

情報モラル教材(小学生向け) コンテンツ内容一覧

話数	タイトル	テーマ	主役の性別	機器	事項のあらすじ	解説の内容等	指導したいこと 気付かせたいこと
第19話	市販されている劇のシナリオと著作権	著作権	男子	スマートフォン等	【題材:市販されている劇のシナリオと著作権】 ●文化祭で行うクラス劇のシナリオ担当になった主人公は、市販されているシナリオを使おうと考えた。 ●購入したシナリオをクラス全員分コピーして配ったところ、担任の先生に著作権法違反だと指摘された。	●演劇のシナリオには著作権がある。上演は問題ないが、著作権者の許可なしにシナリオをコピーして配布したり、勝手に改変したりすることはできない。 ●著作権者の了解なしにシナリオを利用するには、いくつかの条件が必要。 例) 料金をとらないこと、シナリオの題名や著作権者名などを分かるようにしておくこと など。 ●悩んだときはおうちの人か先生に聞いてみること。	●演劇の脚本は著作物であり、著作者の人格権と著作権財産権があることを知る。 ●非営利・無料・無報酬で脚本を上映する場合は、著作権者の了解なしにできるが、脚本のコピーまでは認めていないことを知る。
第20話	読書感想文と著作権	著作権	女子	スマートフォン等	【題材:読書感想文と著作権】 ●読書感想文の宿題に取り組む主人公。インターネットで見つけたレビューが自分の意見と似ていることに気づく。 ●それをそのままコピーして、自分の感想文として提出したところ、担任の先生に著作権法違反だと指摘された。	●人が書いたすべての文章には著作権があるため、それをそのまま自分の文章として使うことは、絶対にいけない。 ●誰かの著作物を自分のものだと嘘をつくことは、「盗作」というもっとも悪質なこと。 ●勝手に使うのではなく、文章を書いた人が誰かハッキリさせた上で紹介することは問題ない。	●盗作によって信頼が失われ、その信頼を取り戻すのはとても難しいことを知る。 ●一時しのぎではなく、苦労して自分で何かを生み出すことの大切さを知る。
第21話	ウイルスに感染してしまったら?②	ウイルス感染	女子	スマートフォン等	【題材:ウイルスに感染させる不正サイト】 ●「宅配しましたが不在でした。〇〇運輸」というメールが届く。●知らない会社名ではない、自分宛に何か届き物があるのかと思ったのでURLをクリックする。 ●身に覚えのないメールが届いたりアプリが勝手に起動したりするようになった。	●インターネット上には悪い人もいる。 ●お金をだまし取ろうとしている人や、ウイルスをばらまこうと考えている人もいる。 ●知らない人からのメールは開かない。 ●心配な場合は消費者センターに相談する。	●知っている人からのメールでも、あやしいと感じたり、怖いと感じたら、自分一人で解決しようとせず、家の人や学校の先生に相談する態度を育む。 ●手口が巧妙になっているので、宅配会社や銀行などのメールでも、用心する。
第22話	ネットゲームのやりすぎはだめ!② (有料アイテム編②)	有料アイテムの課金	男子	スマートフォン等	【題材:ゲームサイトの課金】 ●主人公は友達からギフト機能を使い、プリペイドカードの残金ポイントや使わなくなったアイテムをもらった。 ●主人公はそのことをみんなにばらしてしまい、友達は他の子からもねだられるようになった。 ●しばらくして先生から指導を受け、ポイントやアイテム代金を弁償することになった。	●プリペイドカードのポイント等は、お金をあげた、もらったという感覚がない。 ●買ったものがバーチャルなので保護者は確認できない。 ●友達が課金していることやアイテムをたくさん持っていること等、個人情報をばらしている。	●アイテムをねだったり代理購入を頼んだりするのはお金を強奪していることと変わらないことを理解させる。 ●オンラインゲームには便利な機能があるが、トラブルに発展する可能性があることを理解させる。
第23話	ネットゲームのやりすぎはだめ ③(ルール・マナー編)	ルール・マナー	男子	スマートフォン等	【題材:インターネット利用のルールやマナー】 ●主人公は夜8時から一緒にオンラインゲームをしようと呼びかけ、ボイスチャット機能を使い、夜遅くまで大声でゲームを続けていた。 ●友達からゲームに誘っても断られるようになってしまった。また近所からも夜に騒がしいという苦情がきてしまった。	●各家庭においてゲームに利用に関するルールを作り守るようにする。 ●ゲームの内容によっては発言内容が過激になるので注意する。 ●各家庭でのルールを尊重してゲームを楽しむようにする。	●夜にみんなで集まって遅くまでゲームをすることが健康面にどのような影響を与えるのかを知る。 ●各家庭で相談して決めたルールを尊重することの大切さに気付かせる。 ●ゲームゲーム内容によっては過激な発言が出たり、興奮して大声になったりする可能性があるため、推奨年齢に応じたゲームをすることを理解する。
第24話	動画を見ていたら突然	インターネットに潜む危険	女子	スマートフォン等	【題材:無料動画サイトの悪質動画】 ●主人公は休みの日に、動画サイトでお気に入りのキャラクターが登場する動画を視聴していた。 ●突然、ストーリーがいつもと違う内容になり、残虐な描写が続くようになって気分が悪くなってしまった。	●児童が自由に動画を視聴できる環境となっており、誰が作成したかわからない動画を自由に視聴するのは危険をはらんでいる。 ●動画視聴サイトには年齢制限があることを無視している。	●無料動画サイトには信頼できない不適切な動画があることを理解している。 ●できるだけ保護者の監視下で動画を視聴するようにする。 ●エルサゲートのような悪意のある動画は、本物のイラストを使っていないので見ないようにする。 ●怪しい内容になったときに動画視聴をやめるようにする。